本市の人口
（昭和47年7月1日現在）

人口総数	189，393人
男	92，378人
女	97，015人
世帯数	58，393世帯

甲府市議会だより

（編集・発行）甲府市議会だより編集委員会　電話㉟7054甲府市議会事務局
昭和47年8月1日　第14号

6月定例会日程
6月30日　開会　提案理由説明
7月1日～5日　休会
6日～7日　本会議
8日　一般質問
10日～11日　〃　会期延長
12日～13日　常任委員会
14日　常任委員長報告
常任委員改選
正副議長選挙　閉会

会期延長して正副議長改選

6月定例会

議長　今村氏　副議長　橘田氏

役員改選　一般質問二日間遅れる

六月定例市議会は、六月三十日に招集され、会期を七月十二日まで十三日間と決めましたが、議長改選問題の紛糾から一般質問日が二日間に亘って遅れましたので会期を十四日まで延長した後、市長提出議案の総てを原案通り決めました。さらに正副議長、常任委員の改選等を行ない議長に今村宏、副議長に橘田重雄の両氏を全会一致で選び、また議会内に学校給食センターの特別委員会を設置することも決めて、波乱のあった定例会を閉じました。

一般質問は、七月八、十、十一の三日間にわたり、堀込徳一（公明党）三井五郎（共産党）柏原保幸（清心会）小沢政春（清風会）渡辺俊市（新政会）小林淳亦（市民ク）山本光雄（同）三浦大作（社会党）の八氏が、それぞれ各党各派を代表して行ないました。

六月定例市議会は、七月六日の一般質問日の冒頭から慣例による議会三役の改選問題で各会派の間で意見の対立があり、同日及び翌七日の代表質問は行なわれず、質問二日目の深夜に一人の質問が行なわれるという変則な状況でした。そのため日程を変更して会期を二日間延長、十・十一日に質問を行ない、審議を軌道にのせました。

次に十四日の議会最終日では、市長提出の中央卸売市場関係の請負契約議案など十六件を提案通り決めた後、早川武男氏の議長辞職を許可して正副議長の改選に移り、指名推選で、第五十三代議長に今村宏（市民ク）、第六十四代副議長に橘田重雄氏（同）を選び、議会選出の監査委員には、市長提案の石川達朗氏（清心会）に同意し、農業委員には議員のなかから五人を市長に推せんしました。また常任委員の改選を行ない、最後に委員十三人をもって給食センター事務調査特別委員会の設置を決めて、十五日間の会期を閉じました。なお、本会議における質問の主なものは次のとおりです。

新議長のもとでの本会議場

補償条件の解決を

◇昭和取水問題

問　昭和水源拡張問題について昭和町から条件が提示されたか。聞くところによると各部落の集計では、膨大な条件になるようだが、補償問題に処する考え方と早期解決の見通しについてどうか。

答　昭和町では、目下町長、議会が各部落から出されている条件の調整に努力している最中であるので、まだ補償条件としては出されていない。補償額については、町当局、議会も理解を示してくれているので常識的な線を出してくれると思う。財政的な補償能力という点では、起債対象にならないので、一般財源から支出しなければならないため、玉穂村等の補償も合せて年間四、五千万円、三、四年間での支出が限度と考えており早期解決に最善の努力をする。

体質改善されたか

◇特別徴収協議会

問　特徴協議会の運営については議会でしばしば問題となり、当局は三月議会で体質改善の指導を約束したが、その後どうなっているか。

なお、総会を開いて会則等の検討を行なって、正常運営すべきである。

答　指導責任があるので体質の改善を求めた。理事のうち市議会議員の方は三月三十一日に辞退された。現在、会長が新理事を選考中だが、なお一層指導、監督を行なう。

入浴による治療を

◇寝たきり老人対策

問　寝たきり老人対策として、ホームヘルパーの増員を図るとともに温泉施設をもっている医療機関の協力を得て搬送可能なものを入浴させたらどうか。

答　ホームヘルパーについては昨年一名増員を図ったが、目下在宅老人の実態調査をしているので、その結果のでしだい増員を考慮する。また温泉治療については、市立病院に温泉によるリハビリテイションの施設を作るべく、建設委員会で検討中ですが、入浴はさせたいと考えている。

保育料の軽減を

◇保育所問題

問　保育料が年々値上がりしており、さらに保育料の額においてサラリーマン世帯と農家等の不均衡が目立っている。国の基準にこだわらず保育料の負担軽減を図ったらどうか。また保育園施設が老朽化しているが、この改築について、長期で低利の融資制度を作ってほしい。

答　保育料の負担軽減については、財政実態からして困難であるが、今後できるだけ努力したい。国の基準が改善されるよう働きかけたい。また融資制度については、先進都市を検討して許す範囲で融資制度の確立を図りたい。

不満の解消を図れ

◇商店街のごみ処理

問　清掃問題については、施設面では十分処理できるようになったが市民の不満は解消していない。中央商店街等のごみ処理について、条例の運用解釈がまちまちのようだ。これらの世帯についても収集、運搬の希望があれば、これに応える体制及びこれらの弱点を補うことが必要であると思うがどうか。

答　ごみ処理に対する問題は、市内中心部の商店街に集中している。新法の考え方など多少の混乱はあるが、自己処理や搬入出来ない事情が認められる場合は、手数料をもらって、ごみを運んでやる方向で県とも協議して処理出来るようにした。

甲府駅近代化促進を

市役所内に事務局設置

問　甲府駅近代化問題は、相当具体化してきたようだが、促進の状況はどうか。

答　駅ビル問題は、県、市、商工会議所の三者一体で駅の近代化と、駅前の再開発を図るものであり、将来の市の発展を考えながら計画を綿密にたて、実行していきたい。促進委員会も発足し、会長が私で、事務局は市に置き、県から二人の職員が派遣され、近く市でも専任職員を決める段どりである。刑務所問題と同様議会の協力をお願いしたい。

跡地利用に民意を

◇刑務所移転

問　本市の大事業である刑務所移転は、市長の積極的な姿勢、議会並びに協議会の働きにより、あと一歩の所まで前進しており、地元は感謝している。跡地利用として、琢美小学校の移転を考えているようだが、前もって地域住民と徹底した話合いをする事が必要だと思うがどうか。

答　刑務所移転については、議会の特別委員会、県、国会議員等の協力が実り、法務省が調査する段階になり、今議会に土地取得のため、債務負担の枠の拡大を提案している。公共施設ということで国の承認が必要だが、跡地二万坪について、一万坪は県、市が一万坪を利用する考えだ。県は公営住宅、緑地公園、また、市は琢美小学校の移転をしてまいりたい。民意の尊重は私の基本姿勢であり、十分話し合い九月いっぱいには、正式に跡地利用計画を立てたい。

南部消防署設置を

◇防災対策

問　甲府市南部は、中央卸売市場、国母工業団地、甲府バイパス、精進湖線と、開発発展が著しく、また南甲府署の移転も決まっているので、南部に消防署を設置する計画をもっているか。

答　南部の発展、世帯増加に伴い、四十八年度に用地取得して、四十九年度には消防署を設置したい。

反対運動にPRを

◇千塚区画整理事業

問　千塚地区の組合施行による区画整理事業に対して、主に非農家を中心に反対運動が起こっているようだが状況はどうか。また市の直営でやる考えはないか。

答　千塚の区画整理事業については、現在組合設立を準備中である。反対は、区画整理事業に対する理解が完全になされていないからだと思う。

この区画整理事業は、地域のためにも、将来の都市計画の点からも、実施に努力したい。施行方法は、建設省の指導のもとで組合施行としたが、民意の反映という面では、むしろ市直営より組合の場合は、区域住民の三分の二の賛成がなければ施行出来ないこととなっているので民主的だ。市としても準備会と連携をとりながら説明をしている段階だが、反対の人は出席してくれないのが実情である。今後この事業に理解を得られるよう極力努力する。

浚せつを積極的に

◇中小河川改修

問　中小河川、水路の改修、清掃は、水対策、環境衛生上からも必要だが、どのような計画をもっているか。

答　一朝雨が降ると汚水問題が起るので、中小河川、水路のしゅんせつは必要である。農業用排水路等も都市下水路ということで、荒れているので、年次的に改修したい。

本年度は、三五〇万円の予算を盛ったが河川美化と合せて前向きに対処したい。

統合中学校は大里に建設

山城には甲府商を移転したい

問　公共用地として、地権者の了解を得ている山城地域に甲府商業高校を移転するのがよいと思うがどうか。さらに不離一体の関係にある統合中学校問題に対する市長の最終的な考え方はどうか。

答　甲府商業高校の移転については、北西部に用地を求めたが、これが困難となったので、教育委員会、同窓会、PTA等の了解を得て山城地域に移転をしたい。

統合中学校問題については、議会のご協力に対して深く感謝しているが、一日も早く地元のご理解を願って解決したい。九月には大里に取得してある土地の整地にかかり、統合中学校は大里に建設する考えをもっている。

増設計画を示せ

◇公立幼稚園

問　幼児教育の重要さが言われているが、公立幼稚園の増設について、どのような計画をもっているのか。

答　本市の場合、五才児の就園率は、七五%と全国平均を上廻った率となっている。

今後の幼稚園計画は、新設小学校に併設を行なうとともに、羽黒については二学級を増設したい。

国庫補助の確保は

◇小中学校増改築

問　本年度は、教育施設整備に重点がおかれ、小中学校の増改築予算が倍増したが、国庫補助の獲得は大丈夫か。また、各学校々庭の排水が悪いが直して欲しい。

答　羽黒小の新設、中学校二校の増改築は、夏休み前に着工することで準備を進めている。財源的には問題ない。各学校の運動場の排水については、排水側溝をつくるなど年次的に整備をしていきたい。

就任あいさつ

甲府市議会議長　今村　宏
〃　副議長　橘田重雄

橘田副議長

今村議長

六月定例市議会で、私どもは満場一致のご推挙をいただき、甲府市議会正副議長に就任いたしました。まことに光栄であります。どうぞ暖かいお力添えとご理解とを心からお願い申し上げます。

甲府市も、いまや人口十九万を数え、首都圏はもとより全国においても最も優れた中堅都市として確固たる地位を占めるにいたっており、従って、やらなければならない施策、事業もまた山積しているわけであります。河口市長は、人間尊重、生活優先の基本目標のなかから昭和四十七年度予算編成の中心を、教育施設の充実、福祉の向上、環境の整備、産業の開発などにおいて市政を行なっております。私どもは、それらの諸施策に積極的に協力する態勢のなかで真に市民の皆さんの生活を思い、明るく清潔な市政を打ちたてる熱意に燃えて、議会はあくまで中正を期し、質すべきは質し、なすべきものは断じて行なうという信念で進んでまいりたいと考えております。

甲府市は、これまで中央卸売市場、ごみ処理場、老人医療の無料化など、大きな懸案は着実に解決いたしてまいりましたが、まだこれから甲府刑務所の移転、甲府駅の駅ビル化、北バイパスの推進、甲府商業高校の移転整備、統合中学の建設、水源確保など残された問題は多様であります。私どもはいよいよ心を新たにして問題の解決をはかり、公正にして誠実な議会の運営をいたしてまいりたいと念願いたしております。

私どももとより浅学非才ではありますが諸先輩、同僚ならびに市民の皆さんのご指導とご叱正をいただきながら、議会の権威と品位を高めることにつとめてまいりますので、一段のご支援をお願いいたします。

暑さきびしい折柄、市民の皆さんのご健康を心からお祈り申し上げて、ごあいさつといたします。

固定評価員に鷹野氏

人権擁護委員富士平氏を決定

固定資産評価員三井秀雄氏の退職を承認したので、後任として鷹野八郎氏を選任したい旨、市長から定例会最終日に提案され、議会は全会一致で同意を決めました。

また、人権擁護委員候補者については、富士平氏を再度推せんすることを決めました。

（鷹野八郎氏の略歴）
甲府市住吉本町一九七九番地
県立農林学校卒　山梨県畜産改良協会会長　農業　七十二歳

委員会審査の焦点

六月定例会の総務、民生、水道、建設経済の各常任委員会審査のなかで本議会の焦点となった問題について、委員長報告、委員会審査の中から主なるものを拾うと——

総務

山城中移築の請願を不採択

三月定例市議会に提出され、継続審査となっていた山城中学校移築に関する請願については、現存する山城中学校を地区内に移築したい旨のもので、委員会は、三月定例会以来これを継続審査に付し、その間、同中学校移築促進期成同盟会と小委員会等の場を通じて精力的に話し合いを続けてきました。

このような経過の中から本委員会は、山城地域における教育の振興、文化、産業の将来的発展を基調として

一、山城地区において山城中学校移築予定地として確保しておいた土地については、公共用地として市が取得し、前段の基調にもとづく公共的利用を図る。

二、老朽化した山城小学校の改築整備を促進する。

三、統合中学校への通学の安全を確保する。

など三点を前提として、今後なお地元住民の理解を求める努力を続けてはいくが、現時点では統合中学校については、大里地域に建設することもやむを得ないと認めました。

なお、市長もこのような委員会の考え方を尊重し、努力する旨の言明があり、委員会もこれを了承し、請願第六号については、不採択とするものと決しました。

なお、山城中学校の移築予定地の公共的利用については、市長から同窓会、PTA等関係者の理解を得た上で、市立甲府商業高校を同地に移転したい旨の言明があり委員会もこれを了承いたしました。

民生

ごみの処理体制を論議

民生部、委員会では、付託案件のほか、ごみ処理の新条例施行に伴って生じているトラブルをとりあげ質疑を行ないました。

当局は、事業活動によって生じたごみは、法の主旨からして自らの責任で正しく処理することが原則とされたため、市内の事業所を調べたところ、ごみを多量に出す事業所は九五五個所あったので、これらの事業主との話し合いで、二〇八個所は住吉工場に自己搬入、一一六個所は自己処理、七〇個所は有料収集、五六一個所は無料収集することにしたが、市としても未収集区域を収集区域としたり、今まで週一回、二回収集のところもそれぞれ一回ずつ収集回数をふやしたため、この二〇八個所をすべて収集するとなると、職員の体制や車両を用意せねばならないので、なお考えていきたい、と答えたのをはじめ、新条例施行に伴うトラブルをなくすため、条例施行に当って職員の研修をすることに合わせて市民側にもPRしてきたが、まだ徹底していない恨みがある。今後も機会あるごとに周知していきたい。また、条例で定められている以上の多量のごみを出す事業所は今までも自己搬入していたがこの点は整備したい。さらに産業廃棄物でも一〇キロ以下は無料収集している。等々が明らかにされました。

委員会は、法や条例の範囲内で市民の要望はできるだけ早い時期に汲みあげるよう強く要望してきました。

水道

昭和水源拡張問題

昭和水源拡張問題については、本会議でも幾人かの議員から質問がなされた重要事項ですので、水道部委員会は、特に時間をかけて折衝の状況、補償条件の見通し、補償に対する財政負担能力、解決の見通し等について真剣な討議を行い、ある程度の論議の前進も見られました。委員会としては、水の需要期を控えて本市にとって焦眉の急を要する問題ですので早期解決を要望し、当局から町当局、議会が目下補償条件等の調整に当っているので、早い時点で管を継ぎ取水を得られる見通しをもっているとの答を得ました。

なお、委員会は、取水問題の促進を図るため、近く昭和町当局、議会に懇請に行きこの問題の早期解決に取り組むことを決めました。

建設経済

中央市場関係の請負きめる

建設経済部常任委員会では、中央御売市場関係の請負契約五件を可決しました。

まず、中央御売市場の管理事務所、業者事務所、関連店舗の契約は、八千七百五十万円で県内業者と交されたものであります。審査にたって委員から業者の事務所の位置が市場と離れすぎており、取り引きに支障を来たすという意見が出されましたが、当局から代払い等取り引きに必要な事務は、市場内にボックスを配置し、処理する旨の答弁があり、原案のとおり可決しました。

次に、中央御売市場内の汚水を処理するための施設の契約については、公害防止に重点をおくもので、処理施設は二段階に分れており、排出時のBODを二〇PPM以下とし、下流では七PPM以下になるようにして農作物等に被害のでないように配慮してあります。

このほか、市営住宅の請負契約（三十六戸）についても建設を認めました。

◇用語説明

BOD＝生物化学的酸素要求量、水がどの程度汚れているかを示す基準。

PPM＝一リットルの水の中に何ミリグラムの有機物があるかということを示す。公共水道の基準は二PPMとなっている。

刑務所移転に明るい見通し

刑務所移転促進特別委

甲府刑務所移転促進に関する特別委員会は、昨年十二月議会において設置されて以来、渡辺委員長を中心に市当局と密接な連携を保ちながら、移転候補地の視察、県当局及び県議会に対し陳情、請願を行ない協力を求めるとともに、甲府刑務所長との懇談をはじめ、県選出国会議員の協力を得て法務大臣及び法務省の担当部局長等に対し強力な移転促進のための働きかけを続けてまいりました。また一方静岡市、大津市及び金沢市のすでに刑務所移転を成功させた先進市の状況も綿密に調査するなど精力的にその活動を進めております。

その結果、現在までの情勢としては、

県においては、県議会において移転促進の請願が採択され県当局も担当窓口を企画調整局に決め、移転候補地の選定、跡地利用計画財政面など具体的な援助と指導をしてくれることになり、さらに国への折衝についても協力を得られることになりました。また甲府刑務所としては当然本省の指示に従うことになるが、地域の実情の中で十分考慮はする。しかし、職員の生活環境―例えば教育、医療、水道、排水、道路、ショッピング、通勤のための交通機関など―については特に十分な配慮をしてほしいことが要望されております。

法務省の意向としては甲府刑務所は戦災直後の建物であって老朽化しており、現在地でも早急に改築しなければならない時期に来ている。しかし地元の強い要請があるので移転改築についても十分検討するが、移転については法務省だけでなく国有財産を処分することになるので、大蔵省とも関係があるため十分協議しなければならないとして

一、移転する場合の跡地の払下げは有償（等価交換）が原則であり、跡地利用は公共施設でなければならない。

二、移転のための用地は地元で確保してほしい。

三、近代的な施設とするためには現在地より広い用地が必要である。

四、移転した場合職員の生活環境については十分考慮してほしい

などの諸問題が提示されました。

特別委員会としては、なお市当局及び移転促進協議会とともに移転の早期実現を期し、本省において早く現地調査を実施し、方針を確立されることと他都市の状況からみても移転については相当な財源を要するので、極力財政負担を少くするため土地だけを等価交換し、建物は国で負担する営繕方式の適用とを強く国に要望した結果法務省担当参事官等の現地調査を得るまでにこぎつけ、また営繕方式についても明るい見通しを得たのであります。

今後適切な跡地利用計画、用地買収など多くの問題と取組んでいかなければなりませんが用地買収に伴う財源措置としては、今議会において開発公社の補償限度額を増額するための補正予算が議決されました。

なお刑務所移転を実現した他都市の状況をみるとかつての暗いイメージは一掃されて近代的な明るい立派な刑務所に生れかわっております。またその周辺は道路が新設舗装される等著しく開発されております。

このように昭和四十年十二月市議会で刑務所移転の意見書を議決して以来やっと曙光を見出した感がありますが、移転実現のためには更に県をはじめ関係機関及び関係者、特に地元住民の強い協力体制が望まれるところであります。

5月臨時会

予算を繰上充用

中央市場予算で質疑

市議会臨時会は、五月二十五日中央御売市場特別会計補正予算（約一億八千万円）並びに専決処分二件（市税条例の一部改正、一般会計補正予算）を議題として開かれ、主に中央御売市場の進行状況運営の具体的方針等について本会議、委員会を通じて質疑が行なわれたが何れも市長提案の通りに決めて会期一日をもって閉会いたしました。本会議における質疑の内容は次の通り。

問　中央御売市場のその後の経過と問題点について尋ねたい。

一、青果については、仲買人制度を置くのか、おかないのか、市の考えが固っていると思うが方針はどうか。

二、中央御売市場の業務規程は何時頃までに出来るか、また他の公営市場の規程に比して民主的であるという根拠を何れのところに求めているのか。

三、消費者対策として公設小売市場の設置が是非必要だが具体的な考え方を知りたい。

四、中央市場の資金運営に重大な影響のある県費補助の見通しについてはどうか。

答　一、青果の仲買人制度については原則的に設けていく考えである。今後、内容等については業者と話合いをして決めたい。

二、業務規程には市民の市場であるという観点から当然民営協議会への消費者の参加、消費者コーナーなどを設置したい。

三、公設市場は大都市が中心であるので地方都市には国庫補助の配分がない。必要件は認めていますので農林省とも協議して国庫補助金獲得の見通しがつき次第設置を考えたい。

四、県補助金は本年度一億三千万円を予定しており、市選出県会議員等を通じて九月議会には補正予算が計上されるよう努力している。県のご理解を得ませんと一般財源投入が多くなり市場運営が苦しくなる。議会の協力をお願いしながら是非確保したい。

問　一、本市の市債総額二十五億円に達しており将来とも増える傾向にあるが今後これらの償還計画など財政運営について当局はどのように理解しているのか。

二、公営住宅建設事業の起債について専決処分しなければならなかった理由はなにか。

答　一、起債は将来市が返済する金でありますので財政の見通しのなかで慎重に行なっている。本市の場合、毎年二億円ぐらいずつ起債額が増えているが、国の指導以下に押えているので将来の償還についても十分まかなえる財政実態である。

二、起債の遅れた原因は、特に四十六年度はドルショック問題があり、国の公共投資推進の方策から起債を国が大巾に認める措置があり追加分の起債を全国的な調整で出してきたため起債の内定が議会終了後となり専決処分せざるを得なかった。起債の早期確定については全国市長会等で持上げて毎年運動をしていますが、今後さらに運動を強めていきたい。

請願

採択されたもの

〔民生部委員会〕

○温泉プール建設（山城地区青少年育成会長・斉藤伊織ほか）

○朝気地区の予防接種（新日本婦人の会甲府支部代表者・中込美知子ほか）

○老人福祉センター建設（新紺屋地区老人クラブ連合会長・平賀逸平ほか）

○乳幼児の医療費無料（山梨勤労者医療協会乳幼児医療費無料化を進める会責任者・深沢澄子）

○ゼロ歳児医療費無料化の今年度中実施（新日本婦人の会甲府支部代表・浅川栄子）

〔水道部委員会〕

○水道配水管の新設（北新西部環境整備促進同盟会長・大塚喜造ほか）

〔建設経済部委員会〕

○市道編入整備（荒川町自治会長・三井重雄）

○大せぎ農道の市道編入舗装改良（池田地区自治連合会長・三井重雄ほか）

○道路舗装整備（湯田二丁目自治会長・長谷川恵房ほか）

○道路舗装整備（太田町自治会長・相河博ほか）

○道路舗装（緑ケ丘自治会長・杉田武夫ほか）

不採択となったもの

〔総務部委員会〕

○山城中学校の地区内移築（山城中学校移築促進期成同盟会長・久保島威ほか）

〔建設経済部委員会〕

○市道編入舗装（山宮町、福島泰男）

○市道編入（下今井町自治会長・今井初男ほか）

○市道編入整備（北新二丁目西部環境整備促進期成同盟会長・大塚喜造）

○甲府市中小企業資金融資貸付条例のうち店舗工場等改造資金の貸付期間の延長（青沼一丁目・広島弘八ほか）

継続審査するもの

〔建設経済部委員会〕

○市道編入舗装整備（池田地区自治連合会長・三井重雄ほか）

給食センターの是非を調査

議会に特別委員会設置

給食センターの建設の是非、位置などを調査するため、議会の中に委員十三名をもって構成する「給食センターに関する事務調査特別委員会」を設置して、調査目的が終了するまで閉会中付託をして調査することを全会一致で決めました。

調査を行なう主な目的は、現在ミルク給食のみである中学校にも小学校同様、完全給食にすることを前提として、すでに中央御売市場の隣地に取得してある用地の位置、センター方式の是非について調査を進めるものであります。

特別委員のメンバーは、

委員長　堀込徳一
副委員長　土屋直
委員　小河原正平　森沢茂
〃　山中繁芳　山口茂由
〃　長瀬正左衛門　飯島哲
〃　樋口精一　小林康作
〃　柏原保幸　武川和好
〃　長田金八郎

監査委員に石川氏

農業委員五人を決める

石川監査委員

議会選出の監査委員浅川朝治郎氏が退職したので、議会最終日の七月十四日の本会議で石川達朗氏の同意を決めたほか、市長から推せん依頼のあった学識経験の中から選ぶ農業委員に次の五氏を推せんし、同時に甲府市玉穂村中学校組合議会の補欠議員に次の二氏の当選が決まりました。

▽甲府市農業委員
内藤源一　山本光雄　市川正雄
三浦大作　長田金八郎

▽甲府市玉穂村中学校組合議会議員
山本光雄　長田金八郎

（石川達朗氏の略歴）
甲府市伊勢一丁目一番十八号
市議会議員二期　総務部委員長
特別委員長　清心会所属
会社社長　五十三歳

新常任委員の顔ぶれ

〔総務部常任委員会〕
委員長　小河原正平（市民）
副委員長　小林康作（公明）
委員　今村宏（市民）
〃　山中繁芳（市民）
〃　山本光雄（市民）
〃　小沢綱雄（新政）
〃　中西久（新政）
〃　風間良興（社会）
〃　秋山慎次郎（清心）
〃　三井五郎（共産）
〃　長田金八郎（清風）

〔民生部常任委員会〕
委員長　長瀬正左衛門（市民）
副委員長　三浦大作（社会）
委員　橋田重雄（市民）
〃　小林淳光（市民）
〃　浅川朝治郎（市民）
〃　土屋直（新政）
〃　溝口一雄（公明）
〃　石川達朗（清心）
〃　石丸あきじ（共産）

〔水道部常任委員会〕
委員長　山本清（清風）
副委員長　市川正雄（市民）
委員　山口茂由（市民）
〃　内藤幸男（市民）
〃　森沢茂（市民）
〃　早川武男（新政）
〃　樋口精一（社会）
〃　堀込徳一（公明）
〃　清水清富（清心）

〔建設経済部常任委員会〕
委員長　武川和好（共産）
副委員長　長田徳郎（市民）
〃　内藤秀治（市民）
〃　伊藤常八（市民）
〃　内藤源一（市民）
〃　飯島哲（新政）
〃　渡辺儀市（新政）
〃　込山貴雄（社会）
〃　堀内光雄（公明）
〃　柏原保幸（清心）
〃　小沢政春（清風）

編集後記

◇暑中御見舞申しあげます。

今夏は、全国各地が異常な豪雨にみまわれ、大きな被害を受けました。被災地の皆様には深く御見舞い申しあげます。とともに治山治水対策の重要性と国、自治体の責任を痛感しております。

幸い本市は少ない被害ですみましたが、人ごとではありません。市民の安全のため、今後も危険個所の調査、防災対策などに万全を期するよう、当局とともに努力を重ねて参ります。

◇今議会は、議会役員の改選問題などで一般質問を予定どおり行なうことができず、市民の皆様にご迷惑をおかけした点についてお詫びいたします。